

## 東京大学史料編纂所所蔵唐船舶載反物切本帳について

石田千尋

## 一

平成八年（一九九六）一〇月三日より十一月二六日まで、東京大学史料編纂所は、特殊史料部担当のもと第三六回常設展示を本所六階展覧室において開催した。この展示では、近世海外交渉史をテーマに「長崎諸役所建物絵図」一卷（請求番号〇〇四二一一）・「和蘭船明細図」（請求番号貴三一二五）・「肥前高来郡原城之図」一紙（整理中）・「安政五戊午年七月十七日納 英吉利 大和錦緞子織本紅羽二重御直段仕訳書附」一冊（請求番号S〇一九八一―二一一）・「安政五戊午年八月廿八日 大和錦緞子織御直段仕訳書附」一冊（請求番号S〇一九八一―二一二）と共に「唐船舶載反物切本帳」三冊（後掲史料③⑥⑦）を展示紹介した。本所所蔵の「唐船舶載反物切本帳」（合計七冊）はこの展示を機に貴重書に指定された。この「唐船舶載反物切本帳」はその全容を紹介されることなく今日に至ったため、これを機会に本稿においてその紹介を試みたいと考える。

## 二

いわゆる寛永の「鎖国」以降、長崎は唐船とオランダ船を迎え入れる唯一の公的な国際貿易都市であった。この長崎を窓口として入ってきた

人と物と情報とは、時の中央権力である江戸幕府の治下におかれていた。この内、物すなわち輸入品は、後述する如く各種の手続きを経た後、日本側の役人である目利によつて鑑定・評価が下され、国内市場にもたらされた。輸入反物については、反物目利と呼ばれる役人によつて鑑定・評価された。この反物目利および取引にかかわった五ヶ所本商人（入札商人）等によつて輸入反物の見本裂を貼り込んで作成されたものが「反物切本帳」と称する史料である。「反物切本帳」の類書は、管見の限りにおいても、東京国立博物館をはじめ、長崎県立長崎図書館・長崎市立博物館・九州大学九州文化史研究所・神戸市立博物館・関西大学図書館・財団法人武田科学振興財団杏雨書屋・京都工芸繊維大学美術工芸資料館・鶴見大学図書館・三井文庫・東京大学史料編纂所等に所蔵されており、その他、個人蔵を含めて各所に散在していると考えられる。東京大学史料編纂所には、次に掲げる七冊の「唐船舶載反物切本帳」が所蔵されている。（なお、史料番号①⑦は便宜上筆者が付したものである。）

- ①文化七年 午正月 午巷番割 唐方反物切本 巳七番船・同八番船・同九番船・同拾番船 式冊之内（一冊）
- ②文化九年 申八月 申式番船・同三番船・同四番船・同五番船・同六番船・同汪氏番外船・同十二家別船 毛織類切本 式冊之内（一冊）
- ③文政四年 巳七月 巳四番割 巳巷番船・同式番船 切本（一冊）

④文政六年 未二月<sup>(朱)</sup>「未壹番割」 唐方端物切本 「午三番船方同七番船迄」 式冊之□<sup>(内カ)</sup>(一冊)

⑤天保六未歲閏七月 未壹番船・同式番船・同三番船 持渡端物切本帳 (一冊)

⑥嘉永七<sup>(朱)</sup>「寅四番割」 寅夏唐舟式艘分本賣銀札切本帳 (一冊)

⑦安政三<sup>(朱)</sup>「辰壹番割」 卯冬唐船三艘分 本賣・銀札買・追銀札・別段持渡・別段賣 切本帳 辰三月拂 式冊之内 (一冊)

本稿では、まず、右の①～⑦の史料「唐船舶載反物切本帳」(以下、切本帳と称す)が作成された江戸時代後期の長崎での唐船貿易の取引過程を輸入反物を中心に概観し、次にその取引過程内のどの時点で①～⑦の切本帳が作成されたかを考察対象に含めて各切本帳の紹介をおこない、その後、切本帳に貼り込まれた裂の種類と特質について述べていきたい。

三

先述した如く、いわゆる鎖国下において、唐船はオランダ船と共に唯一の公的な開港場であった長崎港に入津が許されていた。唐船が長崎港に入津すると唐船からは信牌・配銅証文・人名帳・提書請証文・風説書と共に積荷目録の提出がされた。即日の内にこの積荷目録は長崎奉行所で翻訳され、その写しを糸割符年寄が五ヶ所会所へ持ち渡り入札商人たちに写し取らせた。翌日より丸荷役(荷揚げ)が始まり、さらに入港後三日目に積荷の品目・数量を確認する精荷役が始まった。

享和年間(一八〇一～一八〇四)に完成したとされる「華蛮交易明細記」には、

「○」唐船舶賣荷物手本取之事

一端物手本取之事

是者精荷役之節、地合印尺幅等同様之品類分ヶ仕、上中下仕分ヶ、

尤印尺幅品違等ハ番立致、手本取分ヶ、尤反数之口者同品之内ニ而茂少々宛高下ハ可在御座ニ付、其類ハ上何端・上ノ中何端と、上中下之内ニ而歩割を以取分ヶ候事<sup>1)</sup>とあり、精荷役の時点で切本帳に貼り込まれる見本裂が「取分ヶ」られたと考えられる。

長崎奉行が積荷のサンプルに一通り目を通す形式的手続きである大改(天保十四年以降廃止)が終わると、入札商人への荷見せが始まった。荷見せは原則として新地蔵元でおこなったが、反物については長崎会所でおこなわれた。その後、長崎会所で積荷の元値段を決める値組がおこなわれ、唐人の荷物は一応長崎会所の手に移ったことになる。値組終了後、長崎会所の元方会所に商品売捌きの看板、いわゆる払看板がかかった。そこには入札に付す商品、付さぬ商品(除き物)の品目・反数・斤数、落札代銀の支払期限、代銀の納入場所、支払金銀の割合などが明記されていた。本商人はそれを写し取って入札に備えた。入札は、払看板がかかった翌日始まった。入札商人はおおむね数家で組み合っていた。

札読みが封書を開き、札を読む時は、三番札までは札読みの上役の者が品名・札主名・入値を読んだ。そして入札の三番札まで長崎会所に保管された。入札終了翌日から新地蔵元で落札商人への荷渡しがおこなわれ、反物はいちいち反数・巻数を調べて渡された。<sup>2)</sup>

①文化七年 午正月 午壹番割 唐方反物切本 巳七番船・同八番船・同九番船・同拾番船 式冊之内 (一冊、二六丁) (二七・七×一八・

九センチ) (請求番号S〇一九八一三)(図1-1・2参照)

本史料は、文化六年(一八〇九)に長崎港に入津した唐船四艘(巳七番船・同八番船・同九番船・同拾番船)の輸入反物切本帳。この切本帳は、「午壹番割」すなわち文化七年(一八一〇)の一回目の長崎会所と本商人との取引にかけられた反物類を貼り込んだものである。表紙に

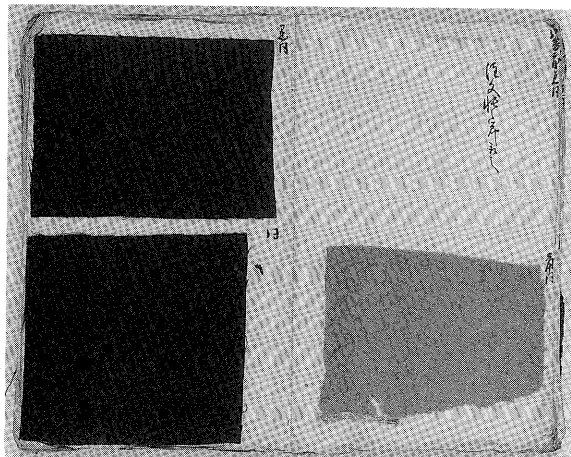


図1-2

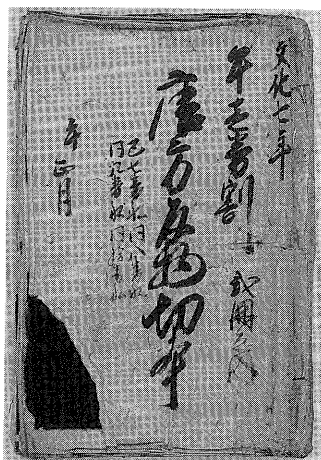


図1-1

「式冊之内」と記されていることよりこの切本帳と対をなす別の切本帳が存在していたと考えられる。この切本帳は輸入反物の鑑定・評価を役目としていた反物目利によって作成されたと考えられるが、反物目利名を記していたと思われる表紙左下の部分が破り取られておりそれを知ることができないのが残念である。

この切本帳は、先述した取引過程をふまえて述べれば、精荷役において見本裂が取られ「午壱番割」の取引用で作成されたものである。また実際には、大改下調べ、入札商人への荷見せ、新地蔵元での荷渡しの際に現物と照合するために使用されたと考えられる。また、この切本帳の中には裂の剥ぎ取られた部分に「注文帳之節取之」と記されている丁があり、注文見本としてもこの切本帳の裂が使用されたことがわかる(図1-1・2参照)。さらにこの切本帳はその残存形態からして後年の

参考として作成・保管する意味合いもあったと推測される<sup>(3)</sup>。

この切本帳にはタテ一四・六、ヨコ一七・三、五センチの裂が一〇六枚貼り込まれており、その右上に各裂の名称が付されている。この名称と各名称に対する裂の枚数を一覧表にして示すと表1のようになる。この中には名称と裂が一致しないものが数枚みられる。東京国立博物館に所蔵されている一三六冊の切本帳は「色呉羅服連にわずかに絹物が含まれている例や、羯山の名称が一定していない点を除けば、誤りらしい点を指摘することはできない<sup>(4)</sup>」と小笠原小枝氏が述べられるように反物目利の作成する切本帳は非常に正確なものである。それがこのように名称と裂に齟齬をきたしているのは、この切本帳が作成された後、何らかの手が加えられたとしか考えられない。それが直接、取引にかかわる時点であったか、後年、第三者によって剥ぎ取られたり、貼り替えられたりしたかは不明である。しかし、この切本帳の場合、枚数的にみてそれが少なく、名称に対する裂が明らかに誤っていることがわかるため、かえってその史料的価値は高いと思われる。従って、この切本帳により、文化六年に長崎港に入津した唐船七・八・九・拾番船輸入の反物類を、全てではないにしても名称と共にその現物を確認することができるのである。

- ②文化九年 申八月 申式番船・同三番船・同四番船・同五番船・同六番船・同汪氏番外船・同十二家別船 毛織類切本 式冊之内(一冊、二〇丁)(二七・三×一九・〇センチ)(請求番号S〇一九八一四)(図2-1・2参照)

文化九年(一八一二)に長崎港に入津した唐船七艘(申式番船、厦門船、七月七日入津、同三番船、南京船、七月七日入津、同四番船、寧波船、七月七日入津、同五番船、寧波船、七月十五日入津、同六番船、南京船、七月二十一日入津、同汪氏番外船、厦門船、八月一日入津、同十

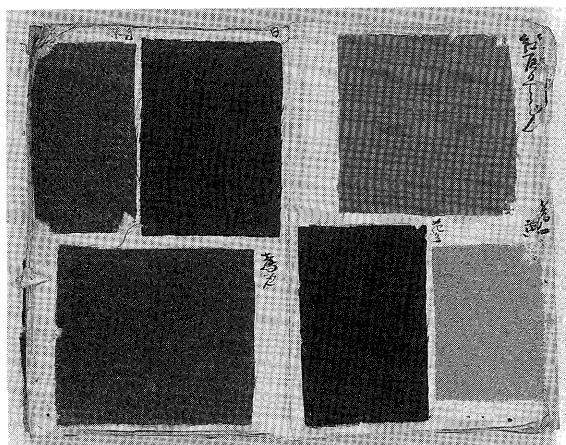


図2-2



図2-1

二家別船、南京船・八月一日入津<sup>(5)</sup>の輸入毛織反物の切本帳。この切本帳も①同様反物目利によって作成されたものと考えられる。この切本帳には、タテ一・二・七・六・五センチ、ヨコ一・五・六・八・九センチの裂が一〇三枚貼り込まれており、その右上に各裂の名称が付されている。

この名称と各名称に対する裂の枚数を一覧表にして示すと表2のようになる。

③文政四年 巳七月 巳

四番割 巳吉番船・同式番船 切本(一冊、

一三丁)(二六・七×

一八・二センチ)(請

求番号S〇一九八一

五)(図3-1・2参

照)

文政四年(一八二二)

七月一日に長崎港に入津

した唐船二艘(巳吉番

船、南京船、同式番船、

寧波船<sup>(6)</sup>の輸入反物切本

帳。この切本帳も①②同

様反物目利によって作成

されたものと考えられ、

「巳四番割」すなわち文

政四年の四回目の長崎会

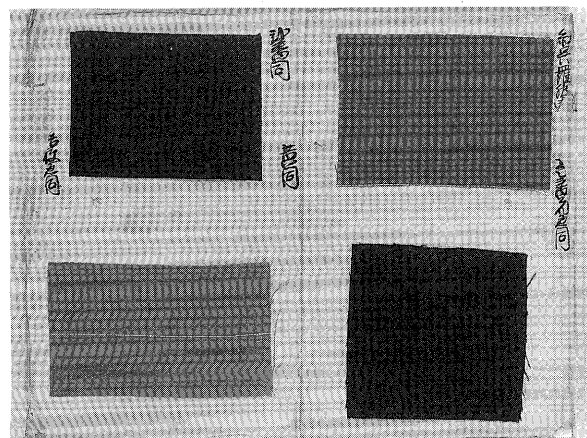


図3-2

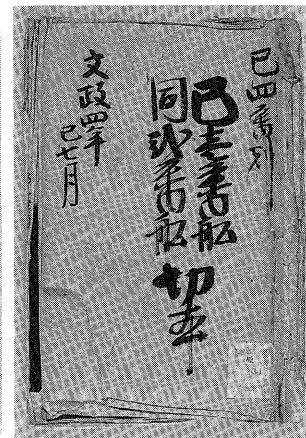


図3-1

所と本商人との取引にかけられた反物類を貼り込んだものである。この切本帳には、タテ一・五・三・五・七センチ、ヨコ一・五・七・九・八センチの裂が五五枚貼り込まれており、その右上に各裂の名称が付されている。この名称と各名称に対する裂の枚数を一覧表にして示すと表3のようになる。

うになる。

なお、管見の限り、反

物目利芦塚太郎八によつ

て作成された同年度同船

の切本帳が東京国立博物

館に所蔵されている

(「文政四 巳七月 唐

方持渡反物切本帳 芦塚

太郎八」一冊)。

④文政六年 未二月

一未吉番割<sup>(朱)</sup> 唐方端

物切本 一午三番船方

同七番船迄<sup>(内カ)</sup> 式冊之

□(一冊、三四丁)(二

七・二×二一・三セン

チ)(請求番号S〇一

九八一六)(図4-1

・2参照)

文政五年(一八二二)

に長崎港に入津した唐船

五艘(午三番船、寧波

船・十二月七日入津、同

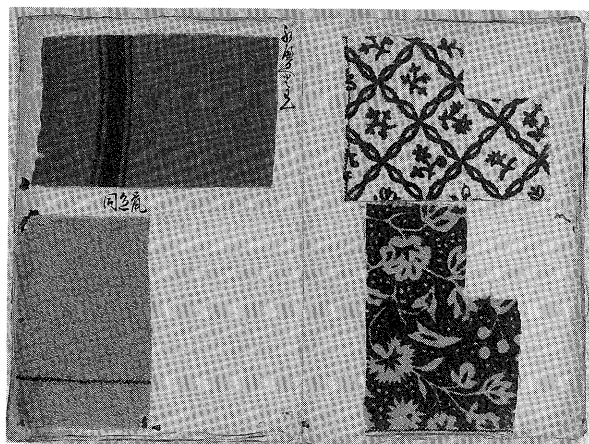


図4-2

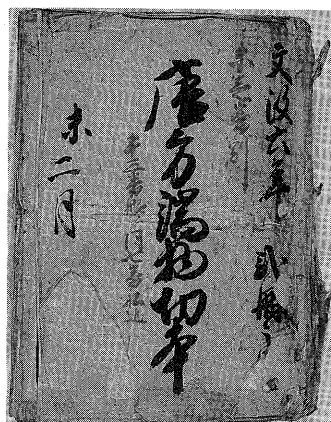


図4-1

四番船→南京船・十二月十四日入津、同五番船→南京船・十二月十四日入津、同六番船→南京船・十二月十五日入津、同七番船→厦門船・十二月二十二日入津<sup>(7)</sup>の輸入反物切本帳。この切本帳も①→③同様反物目利

によって作成されたものと考えられ、「未壹番割」すなわち文政六年の一回目の長崎会所と本商人との取引にかけられた反物類を貼り込んだものである。この切本帳には、タテ一三・一→四・八センチ、ヨコ一七・八→六・四センチの裂が一八四枚貼り込まれており、その右上に各裂の名称が付されている。この名称と各名称に対する裂の枚数を一覧表にして示すと表4のようになる。

なお、管見の限り、③同様反物目利芦塚太郎八によって作成された同年度同船の切本帳が東京国立博物館に所蔵されている（「文政六年 未二月」<sup>(朱)</sup>「未壹番割」 唐方持

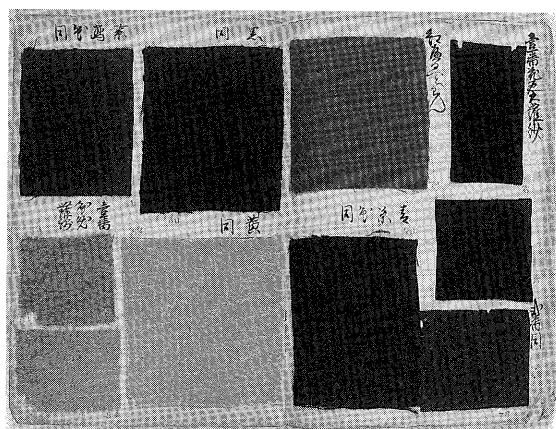


図5-2

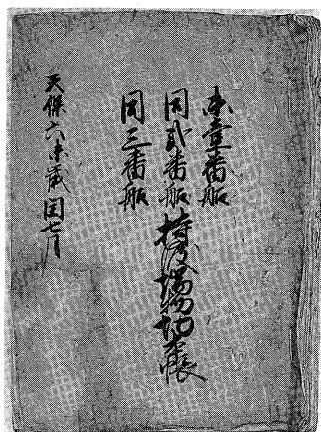


図5-1

渡端物切本帳<sup>(朱)</sup>「午三番船夕同七番船迄」芦塚太郎八（一冊）。  
⑤天保六未歲閏七月 未壹番船・同式番船・同三番船 持渡端物切本帳（二冊、一五丁）（二八・二×二一・〇センチ）（請求番号S〇一九八一七）（図5-1・2参照）

天保六年（一八三五）に長崎港に入津した唐船三艘（未壹番船→南京船・七月五日入津、同式番船→厦門船・七月六日入津、同三番船→寧波船・七月六日入津<sup>(8)</sup>）の輸入反物切本帳。この切本帳も①→④同様反物目利によって作成されたものと考えられる。この切本帳には、タテ一・五→四・三センチ、ヨコ一八・八→五・六センチの裂が九七枚貼り込まれており、その右上に各裂の名称が付されている。この名称と各名称に対する裂の枚数を一覧表にして示すと表5のようになる。

なお、管見の限り、本商人伊勢屋・村上によつ

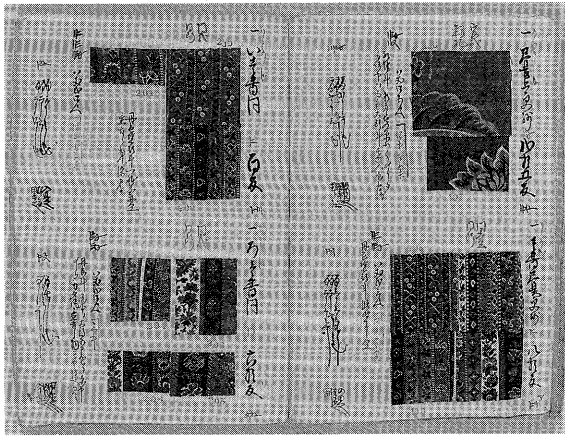


図6-2



図6-1

て作成された同年度同船の取引を記した切本帳が財団法人武田科学振興財団杏雨書屋に所蔵されている(天保六年 未閏七月 未三番割 未壹番船・同貳番船・同三番船 切本帳 伊勢屋・村上)一冊。  
⑥嘉永七 〔寛四番割〕 寅夏唐舟式艘分本賣銀札切本帳(一冊、四三丁)(二七・〇×一九・八センチ)(請求番号S〇一九八一八一)(図6-1・2参照)

嘉永七年(一八五四)に長崎港に入津した唐船二艘(寅老番船・南京船・七月二十六日入津、同式番船・寧波船・七月二十七日入津)の輸入反物切本帳。この切本帳は「寅四番割」すなわち嘉永七年の四回目の長崎会所と本商人との「本賣」「銀札(買)」名目のもとに取引にかけられた反物類を貼り込んだものである。この切本帳は「寅四番割」の取引に加わった本商人によって作成されたものであり、表紙左

下に店印が記されていたが、現在は墨で塗りつぶされている。

この切本帳の作成順序および特徴について一四丁ウ上段の「黄呉路服連」の記事を事例に述べてみたい(図7-1・2参照)。この切本帳は先述した取引過程より考えて、精荷役において見本裂が取られ、商人への荷見せ終了までに、商品名「黄呉路服連」、取引反数「四反」、取引名目「寅老(番船本賣)」が記され、見本裂が貼られ、見本裂の左側にその特徴「丸耳例、コイ色多し、本色老」が記され入札に備えられたと考えられる。そして、入札がおこなわれ、入札上位三番札までの価格(この場合は一間についての価格)と商人名がその左側に記された。この例が示すように「此」すなわちこの切本帳作成者が落札すると、入札価格の上に墨丸印が記された。また、他の商人と同価格で落札になった場合は、図7-1・2の左下(一五丁オ下段)の例でみられるように㊦印が入れられた。他年度の例では、時には三ツ割れ(㊦印)のものもみられる。

商品名「黄呉路服連」の右上に記されている朱書き銀高「二十三匁」は長崎会所が唐船より買い入れた価格、すなわち「元直」である<sup>10</sup>。さらに、商品名の下、反数の上下、特徴記事の上、入札価格の上には見慣れない符号が記されているが、これは取引帳簿に当時使用されていたものであり、蘇州碼字を用いたものではないかと考えられる。漢数字と対照させると、

一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇  
I II III X O 十 卅 文

のように用いられていた。これに宛てて読んでいくと、反数の下の罫は五三四と読め、「此」が入札した銀高すなわち「五十三匁四分」に相当し、各反数下の碼字はこの切本帳作成者の入札(予定)価格とわかる。また、反数の上の罫は「黄呉路服連」一反の長さ二四間を示している。

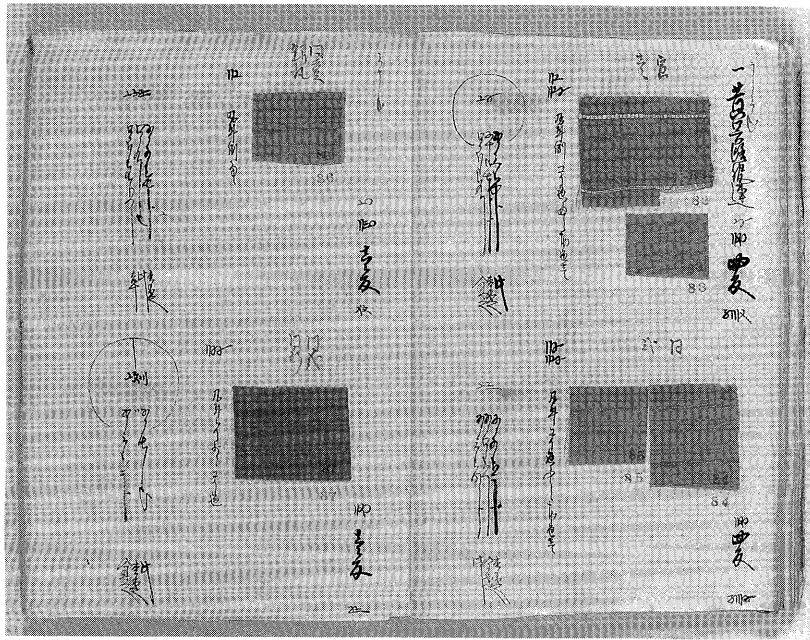


図7-1

その他の碼字は現時点においては明確に判断しかねる。この点については、読者の御教示を仰ぎたい。  
この切本帳に記された取引名目・品名・反数・会所買入価格・落札価格・落札商人名および切本帳に貼り込まれた裂の各枚数を示すと表6のようになる。この切本帳から見本裂を除いた形の帳簿は通常「見帳」と称され、各取引ごとに入札商人等が作成していたと考えられる。嘉永七

<p>[15丁オ]</p> <p>三十匁 同壺 銀札</p> <p>丸耳例多し</p> <p>五十五匁七分 四十九匁 四十八匁九分五厘 此 松本や 吉十</p> <p>10 壹反 XX</p>	<p>[14丁ウ]</p> <p>二十三匁 一黄呉路服連</p> <p>壹寅</p> <p>丸耳例、コイ色多し、本色壹</p> <p>五十三匁四分 五十五匁七分 四十八匁九分 此 松本や 入来や</p> <p>IXO 四反 IIIIX</p>
<p>同式 同断</p> <p>丸耳、コイ色多し、本色壹</p> <p>五十七匁 五十三匁二分 此 松本や 入来や</p> <p>IXO 壹反 上</p> <p>ゴシック体は朱書き</p>	<p>同式</p> <p>丸耳、コイ色多し、本色壹</p> <p>五十五匁二分 五十四匁分 五十三匁五分 此 松本や 入来や</p> <p>IXO 四反 IIIIX</p>

図7-2

年の四番割のものとしては、現在長崎県立長崎図書館に本商人村上が作成した「見帳」が残されている。<sup>(12)</sup>「見帳」と切本帳の照合の結果、切本帳の入札商人「此」に相当する部分が全て「松田や」であることよりこの切本帳⑥の作成者は「松田や」であることが判明する。「松田や」の店印は④であることより先述した表紙の墨で塗りつぶされている部分が解明される。

この切本帳の裂は①、⑤でみた反物目利作成の切本帳の裂に比べて全体的に小さくタテ五・八、一・八センチ、ヨコ七・一・二・七センチの裂が三〇〇枚貼り込まれており、名称と全て一致している。  
なお、管見の限り、反物目利作成の同年度同船の切本帳が次の三ヶ所に合計五冊所蔵されている。  
・東京国立博物館所蔵「嘉永七年 寅閏七月 寅壹番船・同式番船 本方端物切本帳 控 端物目利」一冊・「嘉永七年 寅閏七月 寅壹番船・同式番船 銀札買端物切

本帳 控 端物目利」一冊・「寅閏七月 寅壱番船・同式番船 銀札買反物切本帳 銀札買掛り 端物目利頭取 岩塚真八・同 同助 荒木次郎兵衛・同 端物目利 田嶋猪三郎」一冊  
 ・京都工芸繊維大学美術工芸資料館所蔵「嘉永七年 寅閏七月 〔朱〕「寅四番割」 寅壱番船・同式番船 本方切本帳 〔朱〕「銀札買切本無之」 篠崎一冊  
 ・神戸市立博物館所蔵「嘉永七歳 寅八月 寅壱番船・同式番船本方」一冊  
 ⑦安政三 〔朱〕「辰壱番割」 卯冬唐船三艘分 本賣・銀札買・追銀札・別段持渡・別段賣 切本帳 辰三月拂 式冊之内（二冊、四八丁）（二八・〇×一九・五センチ）（請求番号S〇一九八―八一―二）（図8―1・2参照）  
 安政二年（一八五五）十二月十八日・同三年（一八五六）一月十六日・二月三日に長崎港に入津した唐船三艘（卯式番船・寧波船、辰壱番船・同式番船・南京船<sup>13</sup>）の輸入反物切本帳。この切本帳は「辰壱番割」すなわち安政三年の一回目の長崎会所と本商人との「本賣・銀札買・追銀札・別段持渡・別段賣」名目のもとに取引にかけられた反物類を貼り込んだものである。表紙に「式冊之内」と記されていることよりこの切本帳と対をなす別の切本帳が存在していたと考えられる。史料⑥同様、この切本帳は「辰壱番割」の取引に加わった本商人によって作成されたものであるが、残念ながら「元直」の記載はない。

この切本帳に記された取引名目・品名・反数・落札価格・落札商人名および切本帳に貼り込まれた裂の各枚数を示すと表7のようになる。現存する村上家文書の「見帳」<sup>15</sup>との照合の結果、入札商人「此」に相当する本商人は「布や」となるが、入札三番札までの価格の上の墨丸印は「布や」「松田や」「永見や」の三家に記されている。従って、これは先

に取引過程の中で述べたように三家が組み合せて入札していた事例であることがわかる。表紙の店印が墨で塗りつぶされているが、その跡が史料⑥と非常に似ていることより、この切本帳も「松田や」が作成したものではないかと考えられる。<sup>16</sup>

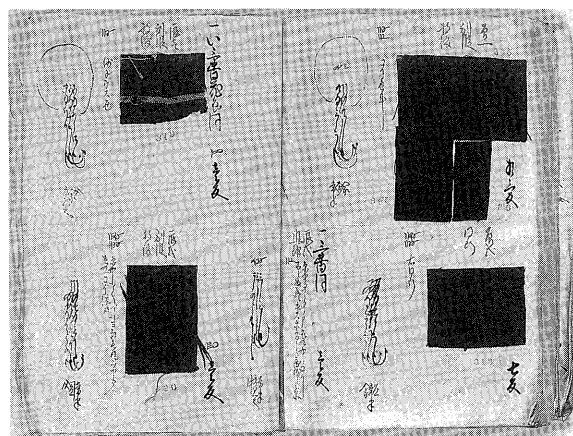


図8-2

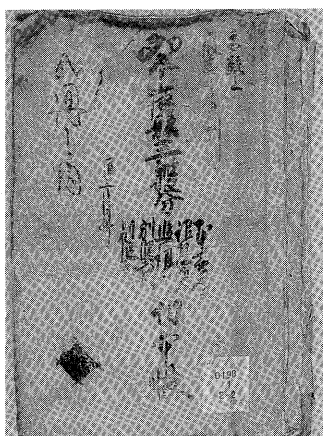


図8-1

この切本帳には、タテ六・七〜一・九センチ、ヨコ九・八〜二・三センチの裂が三六三枚貼り込まれており、表中\*1で注記した裂以外全て名称と一致する。

四

ここでは、三で紹介した史料①〜⑦の切本帳に貼り込まれている裂の種類と特質について、毛織物・絹織物・綿織物・交織の順にそれぞれの名称を上げて紹介していく。

（毛織物）

羅紗・大羅紗・形附羅紗  
 羅紗はポルトガル語のRazaの転じた語。<sup>17</sup>近世の初頭にポルトガル船が

(147) 東京大学史料編纂所蔵唐船舶載反物切本帳について (石田)



持ち渡った *lana* をラシャと呼んだのははじまりである。羊毛で地が厚く、織(平織)の組織がわからないほど毛羽立たせた毛織物。原産地はヨーロッパ。唐船輸入の毛織物はイギリス産の可能性が高い。<sup>(18)</sup> 黒・白・紺・青・鼠・茶・黄色等さまざまな色のものがあるが、緋色の大羅紗は特に猩々緋と呼ばれることがある。(史料編纂所蔵の切本帳では「緋大羅紗」「紅大羅紗」と表記されている。) 猩々緋はサボテンの寄生虫であるコチニール(えんじ虫)の雌を乾燥粉末にして染色したものであり、一ポンドの染料を得るのに約七万匹のコチニールが必要とされた。<sup>(19)</sup> 大羅紗の「大」とは小羅紗の「小」に対する語で丈の長いことを表すようである。しかし、大羅紗と小羅紗の典型的な違いは織にあり、大羅紗は平織であるが、小羅紗は経糸二本ごとに緯糸を通した三枚綾織である。なお、小羅紗は史料編纂所蔵の切本帳にはない。また、羅紗地に文様を捺染したものを形附羅紗と称している。

すためん

すためんは、オランダ貿易品目の名称 *stamet(ten)* の音訳である。羅紗に比べて薄手で毛足が短くやや粗い平織の毛織物。

ふらた

ふらたの原語はオランダ語 *bourat*。ラテン語の *burra* (毛深い粗毛の動物の毛皮の意) が語源のようである。<sup>(20)</sup> 羅紗よりも太い糸の平織もしくは綾織で、毛足の長い厚手の毛織物。

呉羅服連・紋呉羅服連

呉羅服連は、オランダ貿易品目の名称 *grofgrain* の音訳である。*grof* は「粗い」、*grain* は「表面のざらついた」という意。経緯の糸込みが二二本前後(一センチ間)のかなり均一な平織の起毛のない毛織物。この呉羅服連にプレスで文様を施したものを紋呉羅服連と称している。

へるへとわん・形附へるへとわん

へるへとわんは、オランダ貿易品目の名称 *perpetuan* の音訳である。*perpetuan* は字義上は「永久の」の意。もともとポルトガルで生まれた織物。ざつくりとした綾目で粗い起毛の毛織物。このへるへとわんに文様を捺染したものを形附へるへとわんと称している。

羯山

へるへとわんに比べて起毛が少なく、糸が細く密な綾織の毛織物。

サアイ

サアイは、オランダ貿易品目の名称 *see* の音訳である。三枚綾織の起毛のない薄手の毛織物。

兔羅綿

へるへとわんに比べて起毛が少なく糸は細いが、羯山ほど密ではない綾織の毛織物。

〈絹織物〉

紗綾・紋紗綾

ポルトガル語の *seu* が語源といわれる絹織物。生絹の密な平織を生紗綾と称している。また、入子菱の文様を織りだした綾のものや、平織地に四枚綾で文様を織り出したものを紋紗やと称している。

羅

目が粗く薄い絹織物。現在では絹と称されるものであるが、薄物であることより羅と呼んだのであろう。

絹細

サク蚕糸を使用した薄地の平織物。各種の色物があるが、一般に鈍い色合いのものが多く。

縮綿

経糸に撚りのない生糸、緯糸に右撚りと左撚りの強撚糸を交互に使っ

て平織にし、布面に細かな皺を出した絹織物。

〈綿織物〉

金巾・綾金巾

金巾はポルトガル語 *canequim* の音訳である<sup>(22)</sup>。下記の木綿よりも経緯の糸込みが密で、布面の平滑な光沢のある平織の綿布。よく晒した平織の白生地「白金巾」の他、後染した色物もある。また、金巾の綾織のものを綾金巾と称している。

木綿・綾木綿・菱木綿

未晒して厚手の平織綿布。金巾に比べて経緯の糸込みが粗い。また、綾織のものを綾木綿、菱柄に織り出したものを菱木綿と称している。

綿天鷲絨・形付綿天鷲絨

天鷲絨はポルトガル語の *valudo* の転じた語<sup>(23)</sup>。ループ状に浮かせた経糸を切つて毛羽立てた綿糸のいわゆる毛切れピロード。この綿天鷲絨に化学染料を用いて花柄文様などをプリントしたものを形付綿天鷲絨と称している。

更紗

更紗は綿布を花鳥・人物・幾何学文様等、種々様々な模様染めわけたもの。更紗は本来インドで生まれた染織と考えられるが、その技法がヨーロッパに伝わり、そこで生まれた更紗(ヨーロッパ更紗)がある。このヨーロッパ更紗はインド更紗とは違ったヨーロッパ独自の意匠によって化学染料を用いた花柄や幾何学文様等のものでやかなプリント更紗である<sup>(24)</sup>。史料編纂所所蔵の切本帳の更紗は、全てプリントによるヨーロッパ更紗である。

〈交織〉

紋綿細

緯糸に綿糸、経糸に撚りのない生糸を用い、平織の地に四枚綾で文様

を織り出した交織。

五

本稿において紹介した東京大学史料編纂所蔵「唐船舶載反物切本帳」七冊は、長崎貿易(唐船貿易)において、実際の取引の中で作成された原史料である。史料①⑤は反物目利が輸入反物を鑑定した後、後の覚えのために作成した「手本帳」と称すべきものである。また、史料⑥⑦は本商人「松田や」が作成した切本帳と考えられ、長崎会所と本商人との取引の実態を伝え、取引された裂見本と共に本商人の落札価格まで知ることができる。いずれにしろ、これらの切本帳は、作成年月を明記の上、現物としての裂と名称とが一体となっていることより、その史料価値は非常に高いといえよう。

東京大学史料編纂所蔵「唐船舶載反物切本帳」七冊は、近世にもたらされた反物すべてを含んでいるわけではないが、一九世紀前・中期に唐船が日本に輸入した外来の染織を明らかにする掛け替えのない実証史料ということができよう。

〔註〕

- (1) 「華蛮交易明細記」(『長崎県史』史料編第四、吉川弘文館、昭和四〇年) 三九一〜三九二頁参照。
- (2) 唐船貿易の取引過程については主として山脇悌二郎『長崎の唐人貿易』(吉川弘文館、昭和四七年) 二九七〜三〇九頁を参照し、中村質『近世長崎貿易史の研究』(吉川弘文館、昭和六三年) 四六一〜四六三頁で補った。

- (3) 小笠原小枝・石田千尋「紅毛船・唐船・琉球産物 端物切本帳について」(『MUSEUM』四五六、平成元年) 六〜七頁参照。

- (4) 同右、一七頁参照。

- (5) 「文化九壬申年中 唐船方日記并配銅帳 壹」(長崎市立博物館所蔵) 参照。
- (6) 大庭脩編『唐船進港回棹録・島原本唐人風説書・割符留帳』(関西大学東西学術研究所、昭和四九年) 一〇頁参照。
- (7) 同右、一〇頁参照。
- (8) 同右、一三頁参照。
- (9) 同右、一七頁参照。
- (10) 史料⑥と同じ取引を記した「嘉永七甲寅四番割 寅閏七月 寅壹番船・同式番船 本賣并銀札買控 村亀」(財団法人武田科学振興財団杏雨書屋所蔵)には商品名「緋大羅紗」の右側に朱書きで「元直九十一匁五分」と記されており、史料⑥で同じ記事にあたる「緋大羅紗」の右側に朱書きで記されている「九十匁五分」が「元直」、すなわち長崎会所が唐船から買い入れた価格(一間に付)であることがわかる。従って、史料⑥の商品名の右側に朱書きで記されている銀高は「元直」ということになり、本商人は入札する商品の「元直」を知っていたことになる。
- (11) 東亜同文会『清国商業綜覧』第一巻第二編(丸善株式会社、明治三九年) 八頁参照。
- (12) 「嘉永七年見帳」(長崎県立長崎図書館所蔵)内の「(嘉永七年) 寅閏七月 寅壹番船・同式番船 本賣端物見帳 村武」・「(嘉永七年) 寅寅壹番船・同式番船 銀札賣見帳」参照。また、財団法人武田科学振興財団杏雨書屋所蔵の註(10) 掲載史料・「嘉永七年 寅八月 寅四番割 寅壹番船・同貳番船 端物集」も同じ取引を記した史料である。
- (13) 註(6)、一七頁参照。
- (14) 史料⑦には、「別段賣」の記事はみられない。
- (15) 「安政三辰壹番割」 卯式番船・辰壹番船・同式番船 本賣反物見帳 村武」・「安政三辰壹番割」 卯式番船・辰壹番船・同式番船 銀札買見帳 村武」・「安政三年辰壹番割」 辰正月 卯式番船別段持渡荷物・辰壹番船同・同式番船同 見帳 村武」(以上、長崎県立長崎図書館所蔵)・「安政三丙辰壹番割」 辰正月 卯式番船・辰壹番船・同式番船 本賣銀札買見帳 村藤」(財団法人武田科学振興財団杏雨書屋所蔵)
- (16) 参照。なお、表7では長崎県立長崎図書館所蔵の見帳を使用した。「松田や」作成の切本帳は、東京大学史料編纂所の他、管見の限りでは、長崎市立博物館・九州大学九州文化史研究所・関西大学図書館等に所蔵されている。
- (17) 『日本国語大辞典』二〇巻(小学館、昭和五一年) 二七一頁参照。岡田章雄「羅紗」(『南蛮随想』岡田章雄著作集VI、思文閣出版、昭和五九年) 四二〜四三頁参照。
- (18) 拙稿「近世日本と国際的商品流通の展開―嘉永二年、長崎貿易における染織輸入―」(『箭内健次編『国際社会の形成と近世日本』日本図書センター、平成一〇年) 参照。
- (19) 角山幸洋『日本染織発達史』(田畑書店、昭和四九年) 八一頁参照。
- (20) 山脇悌二郎「スタト・テイル号の積荷―江戸時代後期における出島貿易品の研究―」(『長崎談叢』第四九輯、昭和四五年) 九一〜一〇頁参照。Pieter van Dam, *Beschrijvinge van de Oostindische Compagnie. 2de boek, dl. I. p. 815. bourt.*
- (21) Pieter van Dam, *op. cit.* 1ste boek, dl. I. p. 744. perpetuum.
- (22) 註(17) 五巻、三〇頁参照。
- (23) 註(17) 一七巻、二二三頁参照。
- (24) 拙稿「江戸時代の更紗輸入―オランダ船の舶載品を中心として―」(根津美術館編『古渡り更紗と和更紗』平成五年) 参照。

品名	貼付枚数	備考
紫色同	1	
紺飛色同	1	
紫飛色同	1	
黒同	1	
・巳九番船		
壹番紅大羅紗	1	
貳番紅大羅紗	1	
叁番花色同	1	
同	1	
同	1	
貳番同	1	
飛色大羅紗	0	裂剥離
同	0	裂剥離
黒同	1	
鼠同	1	
紅羯山	1	異裂(飛色大羅紗) 貼付
花色同	1	
同	0	裂剥離
飛色同	1	
鼠	1	
黒	1	異裂(花色羯山) 貼付
黒同	1	
紅へるへとわん	1	
青茶同	1	
同	1	
紫飛同	1	
花色同	1	
同	1	
飛色同	0	裂剥離
飛色同	1	
黒同	1	
白羅	1	
黒羅	1	
同	1	
・巳九番船		
色菱木綿花色	1	
飛色	1	
藍海松茶	1	
薄茶	1	
煤竹	1	
藍媚茶	1	
絹絹細 <sup>(マ)</sup>	1	
色深呂木綿花色 <sup>(染)</sup>	1	
煤竹	1	菱木綿
飛色	1	菱木綿
アイミル茶	1	菱木綿
藍媚茶	1	菱木綿
薄茶	1	菱木綿
・巳拾番船		
色綸子	0	裂剥離
同	0	裂剥離
花布	1	異裂(絹細)貼付

表1 「文化七年正月 唐船舶載反物切本帳」  
裂の名称と貼付枚数

品名	貼付枚数	備考
・巳七番船		
紅大羅紗	1	
壹番花色同	1	
貳番花色同	0	裂剥離
黄同	1	
同	1	
青茶色同	1	
飛色同	1	異裂(花色大羅紗) 貼付
飛色同	1	
黒同	1	
濃花色同	1	
桔梗色紋呉羅服連	0	裂剥離
黒同	0	裂剥離
黒同	1	
紅羯山	1	
壹番花色同	1	
同	1	
同	1	
貳番花色同	1	
飛色同	1	
同	1	
黒同	1	
黒同	1	
形付へるへとわん	0	裂剥離
紅へるへとわん	0	裂剥離
青茶同	1	
同	1	
黄同	1	
飛	1	
飛	1	
紫飛	1	
紫飛	1	
花色	1	
花色	1	
[名称なし]	1	(黒へるへとわん)
赤飛	1	
生紗綾	1	
色紋さや	1	
・巳八番船		
色紋さや	0	裂剥離
同	1	
花色紋呉羅	0	裂剥離
紅羯山	1	
壹番花色同	1	
同	1	
貳番花色同	0	裂剥離跡に 「注文帳之節取之」 と記す
鼠同	1	
黒同	1	
同	1	
青茶へるへとわん	1	
花色同	1	
同	1	

品名	貼付枚数	備考
老番黒鳶	1	
式番同	1	
鼠	1	
・同三番船		
紅大羅紗	1	
濃花色羅紗	1	
鳶色羅紗	1	
花色	1	
青茶	1	
黄	1	
黒	1	
薄萌黄色厚手羅紗	1	
鳶色へるへとわん	1	
青茶	1	
黒鳶	1	
花色	1	
黒	1	
黄	1	
・同四番船		
紅大羅紗	1	
黒	1	
薄手黒小巾羅紗	1	
花色すためん	1	
同	1	
濃花色同	1	
浅黄同	1	
類違濃花色ふらた	0	裂剥離
同黒	1	
花色羯山	1	
紅へるへとわん	1	
黄	1	
花色	1	
同	1	
青茶	1	
黒鳶	1	
煤竹色	1	
・同五番船		
紅大羅紗	1	
鳶色羅紗	1	
花色羅紗	1	
黒	1	
青茶色へるへとわん	1	
花色	1	
同	1	
紫鳶色	1	
黒鳶色	1	
・同六番船		
紅大羅紗	1	
花色羅紗	1	
青茶色	1	
鳶色	1	
類違浅黄ふらた	1	
花色同	1	
紅へるへとわん	1	

品名	貼付枚数	備考
紅小巾羅紗	1	
同	0	裂剥離
老番花色小巾羅紗	1	
同	1	
式番花色同	1	
飛色同	0	裂剥離
黄同	1	
紅羯山	1	
青茶同	1	
花色	1	
同	1	
鼠色同	0	裂剥離
黒同	1	
紅へるへとわん	1	
花色同	1	
同	1	
青茶同	1	
同	1	
飛色同	1	
同	1	
紺飛同	1	
黄同	1	
紫飛色同	1	
同	1	

表2 「文化九年八月 唐船舶載反物切本帳」  
裂の名称と貼付枚数

品名	貼付枚数	備考
・申式番船		
呉羅服連 紅	1	
黄	1	
千艸色同	1	
鳶色	0	裂剥離
青茶	1	
[名称なし]	1	(花色呉羅服連)
[名称なし]	1	(紫鳶色呉羅服連)
紅大羅紗	1	
[名称虫損]	1	(黒羅紗)
花色同	1	
黒	1	
形附羅紗	1	
[名称なし]	0	裂剥離
[名称なし]	0	裂剥離
[名称なし]	0	裂剥離
藍色すた <small>(めん)</small> □□ <small>(栝樓)</small>	1	
□□色同	1	
花色	1	
類違黒ふらた	1	
紅へるへとわん	1	
黄	1	
花色	1	
同	1	
青茶	1	
鳶色	1	
同	1	

品名	貼付枚数	備考
コイ花色同	1	
紅へるへとわん	1	
花色同	1	
(るへとわん)		
青茶色へ□□□□□	1	
黒同	1	
黒同	1	異裂(黒大羅紗) 貼付
桔梗色同	1	異裂(花色大羅紗) 貼付
・[巳式番船] (羅紗)		
鼠色大□□	1	
青茶色同	2	
鳶色同	2	
紫鳶色同	1	
花色同	1	
赤すためん	1	
青茶色すためん	2	
花色同	2	
薄鼠色同	2	
桔梗色すためん	1	
[名称なし]	1	(紅へるへとわん)
鼠色同	1	へるへとわん
青茶色同	1	へるへとわん
鳶色同	1	異裂(花色へるへ とわん) 貼付
花色同	1	異裂(鳶色へるへ とわん) 貼付
[名称なし]	0	裂剥離
[名称なし]	1	(青茶色へるへとわ ん)
黒同	1	へるへとわん
桔梗色へるへとわん	2	
色上絹紬	4	

品名	貼付枚数	備考
黄	1	
花色	1	
鳶色	1	
黒鳶色	1	
青茶	1	
黒	1	
・同汪氏番外船		
薄手紅小巾羅紗	1	
薄手花色	1	
薄手黒同	1	
薄手黒同	1	
黄へるへとわん	1	
青茶色	1	
黒	1	
紅	1	
黒鳶色	1	
黒鳶	1	
花色	1	
同	1	
青茶	1	
・同十二家別船		
紅大羅紗	1	
花色羅紗	1	
黒羅紗	1	
黒薄手小巾羅紗	1	
花色同	1	
青茶へるへとわん	1	
黒鳶	1	
同	1	
花色	1	
花色	1	
煤竹	1	
黄	1	
同	1	

表4 「文政六年二月 唐船舶載反物切本帳」  
裂の名称と貼付枚数

品名	貼付枚数	備考
・[午三番船]		
紅大羅紗	2	1枚裂剥離
青茶色大羅紗	3	
白同	2	
藍媚茶色大羅紗	2	
鳶色同	3	
鼠色同	2	
桃色同	1	
濃桔梗色同	1	
壺番花色同	1	
壺番花色同	1	
式番同	1	
黒同	1	
黒同	1	
壺番黒鳶色同	1	
式番黒鳶色	1	
紅小幡羅紗	1	

表3 「文政四年七月 唐船舶載反物切本帳」  
裂の名称と貼付枚数

品名	貼付枚数	備考
・巳壺番船		
紅大羅紗	2	
青茶色同	2	
鼠色同	1	
鼠色同	1	
黒同	2	
鳶色大羅紗	3	
花色大羅紗	3	
コイ桔梗色羅紗	1	異裂(花色へるへ とわん) 貼付
紅呉羅服連	1	
壺番花色同	1	異裂(花色羯山) 貼付
式番同	1	
黄同	1	
桔梗色同	1	

品名	貼付枚数	備考
黒へるへとわん	1	
・午五番船		
紅大羅紗	2	
花色同	3	
鳶色大羅紗	1	
鼠色同	1	
青茶色同	2	
黒同	2	
桃色大羅紗	1	
藍媚茶色同	1	
紅呉羅服連	2	
黒	2	
藤鼠色同	1	
黄呉羅服連	1	
赤鳶色同	1	
花色同	2	
沓番黒鳶色同	1	
式番同	1	
濃花色同	1	
桔梗色同	1	
濃紫色同	1	
同	1	
濃桔梗色同	1	
花色へるへとわん	1	
黄同	1	
・午六番船		
紅大羅紗	2	
黒鳶色同	0	裂剥離
黒同	1	異裂(青茶色呉羅服連)貼付
藍媚茶色同	0	裂剥離
花色同	1	
青茶色同	1	
紫鳶色同	0	裂剥離
濃桔梗同	1	
紅すためん	2	
薄鼠色同	2	
赤鳶色同	1	2枚裂剥離
沓番花色同	1	
沓番花色同	1	
式番花色同	1	
沓番青茶色同	1	
沓番青茶色同	1	
式番同	1	
式番同	1	
沓番桔梗色同	1	
式番桔梗色同	1	
紫鳶色同	1	
赤同	1	
赤同	1	
鼠色同	1	
沓番紅呉羅服連	0	裂剥離
式番紅呉羅服連	0	裂剥離
黒同	2	
鳶色同	1	
濃桔梗色同	1	

品名	貼付枚数	備考
[名称なし]	0	裂剥離
青茶色小幅羅紗	1	1枚裂剥離
濃桔梗色同	1	
紫鳶色同	1	
黒同	1	
鳶色同	1	異裂(紅小幅羅紗)貼付
花色同	1	
沓番紅呉羅服連	1	
式番同	0	裂剥離
濃花色	2	
赤鳶色同	0	裂剥離
桔梗色同	1	
濃紫色同	1	1枚裂剥離
花色同	1	
青茶色同	1	
黄同	0	裂剥離
鳶色同	1	
黒鳶色同	1	
黒同	0	裂剥離
形附へるへとわん	4	1枚裂剥離
紅へるへとわん	1	1枚裂剥離
鼠色同	1	
黒同	1	
紫鳶色同	0	裂剥離
[名称なし]	1	(青茶色へるへとわん)
沓番鳶色	1	
式番鳶色	0	裂剥離
沓番桔梗色同	1	
式番同	1	
花色へるへとわん	1	
・午四番船		
紅大羅紗	2	
青茶色同	1	1枚裂剥離
桃色同	1	
沓番花色同	1	
沓番花色同	1	
式番同	1	
式番同	1	
桔梗色同	1	
藍媚茶色同	2	
沓番黒同	1	
沓番黒同	1	
式番同	1	
鳶色同	1	1枚裂剥離
鼠色同	2	
紫鳶色同	1	
黒鳶色同	1	
藤鼠色呉羅服連	2	
鳶色呉羅服連	1	
花色同	2	
桔梗色へるへとわん	1	
桔梗色同	1	
青茶色同	1	
鳶色同	1	
花色同	1	

品名	貼付枚数	備考	品名	貼付枚数	備考
式番同	1		同	1	
藤色同	1		赤鶯色同	1	
黄同	1		花色同	1	
紅呉羅服連	1		同	1	
黒同	1				
紅へるへとわん	1		・午七番船		
黄へるへとわん	2		壹番紅大羅紗	1	
桔梗色へるへとわん	1		同	1	
青茶色同	1		式番紅大羅紗	1	
壹番幅廣上白金巾	1		壹番花色同	1	
式番幅廣上白金巾	4		同	1	
幅廣白金巾	1		同	1	
同	1		式番同	1	
上絹紬	2		同	1	
御請持渡			壹番紫鶯色大羅紗	1	
大紅縮綿	1		式番同	1	
同	1		同	1	
			壹番青茶色同	1	
・式番船			式番同	1	
紅大羅紗	1		同	1	
白同	1		式番青茶色同	1	
白同	1		黒同	2	
青茶色同	1		浅黄色同	1	
鼠色同	2		鶯色同	2	
黒同	1		壹番黒鶯色同	1	
同	1		式番同	1	
黄同	1		同	1	
壹番花色大羅紗	2		藍媚茶色同	1	
式番同	1		濃桔梗色同	1	
鶯色同	1		黄同	1	
桔梗色同	1		壹番紅呉羅服連	1	
紅寿多綿	2		式番同	1	
紅へるへとわん	1		[名称なし]	1	(花色呉羅服連)
藍海松茶色同	1		黒同	1	
同	1		濃紫色同	0	裂剥離
鶯色同	1		黄同	1	
花色同	1		赤鶯色同	1	
壹番黄へるへとわん	1		濃桔梗色同	1	
式番同	2		黒鶯色同	1	1枚裂剥離
壹番幅廣上白金巾	3		桔梗色下羅紗	1	
式番幅廣上白金巾	4		紫鶯色へるへとわん	1	
上絹紬	4		紺鶯色同	1	
			壹番花色同	0	裂剥離
・三番船			式番花色同	1	
紅大羅紗	1		同	1	
青茶色同	2		紫色同	0	裂剥離
黄同	1		黄同	1	
白大羅紗	1				
同	1				
桔梗色同	1				
同	1				
鶯色同	1				
同	1				
黒同	3				
壹番花色大羅紗	2				
式番同	1				
紅へるへとわん	1				
青茶色同	1				

表5 「天保六閏七月 唐船船載反物切本帳」  
裂の名称と貼付枚数

品名	貼付枚数	備考
・未壹番船		
青茶色大羅紗	1	
白同	1	
鼠色同	1	
壹番花色大羅紗	2	



品名	貼付枚数	備考	品名	貼付枚数	備考
幅廣上白金巾	3		黒同	1	
幅廣色金巾 花色	1		黄同	1	
同	1		紫鶯色同	1	
同 紺	1		壹番色兎羅綿	2	
上絹紬	3		同	1	
三番絹紬	1		貳番色兎羅綿 花色	1	
			千草色	1	

表6 「嘉永七年 唐船舶載反物切本帳」 取引名目・裂名称・貼付枚数・取引反数・会所買入価格・落札価格・落札商人名

取引名目	品名	取引反数	貼付枚数	会所買入価格(銀高)	落札価格(銀高)	落札商人
一	緋大羅紗	4反	2	91匁5分 /間	148匁7分 /間	金沢や
二		7反	2	91匁5分 /間	152匁2分 /間	田原や
二	青茶色大羅紗	2反	2	94匁5分 /間	150匁5分 /間	田原や
二		4反	1	94匁5分 /間	162匁 /間	河内や
二	萌黄色同	2反	2	81匁5分 /間	138匁5分 /間	此
二	黄同	1反	1	81匁5分 /間	135匁 /間	此
一	壹番花色大羅紗	1反	1	81匁5分 /間	134匁 /間	金沢や
二		1反	1	81匁5分 /間	138匁9分 /間	松本や
二	貳番同	3反	2	81匁5分 /間	139匁5分 /間	金沢や
二		2反	2	81匁5分 /間	145匁1分 /間	田原や
一	桔梗色大羅紗	2反	2	81匁5分 /間	146匁 /間	松本や
二		2反	1	81匁5分 /間	151匁 /間	松本や
二	藍鼠色同	2反	1	81匁5分 /間	150匁 /間	松本や
二		2反	2	81匁5分 /間	146匁5分 /間	河内や
二	薄鼠色大羅紗	1反	1	81匁5分 /間	124匁6分 /間	河内や
二	鶯色同	2反	2	81匁5分 /間	138匁8分 /間	河内や
一	紫鶯色同	5反	3	81匁5分 /間	153匁8分 /間	金沢や
二		1反	1	81匁5分 /間	150匁2分 /間	金沢や
一	黒大羅紗	2反	1	81匁5分 /間	161匁3分 /間	田原や
二	青茶色羅紗	1反	1	35匁 /間	-	-
一	類違青茶色羅紗	5反	3	48匁 /間	-	-
二		1反	1	48匁 /間	-	-
二	類違花色羅紗	1反	1	45匁 /間	-	-
二		1反	1	45匁 /間	-	-
一	同黒同	1反	1	45匁 /間	-	-
二		1反	1	45匁 /間	-	-
一	類違桔梗色羅紗	2反	1	45匁 /間	-	-
二	黒鶯色スタメン	1反	1	35匁 /間	-	-
一銀札	幅廣緋スタメン	2反	1	140匁 /間	211匁 /間	村藤
二銀札		6反	2	140匁 /間	211匁6分 /間	村藤
一銀札	幅廣花色スタメン	3反	2	110匁 /間	193匁 /間	松本や
二銀札		10反	2	110匁 /間	196匁 /間	松本や
二銀札	同青茶色同	1反	1	110匁 /間	275匁9分 /間	の田や
二銀札	同桔梗色同	4反	2	110匁 /間	216匁5分 /間	金沢や
二銀札	巾廣紫飛色スタメン	1反	1	110匁 /間	205匁5分 /間	金沢や
二銀札	緋サアイ	10反	2	35匁 /間	55匁 /間	村仁
二	類違黒ふらた	12反	2	25匁 /間	49匁4分 /間	田原や
一銀札		4反	2	35匁 /間	-	-
一	緋吳路服連	12反	2	24匁 /間	50匁6分 /間	入来や
二		5反	2	24匁 /間	51匁9分1厘 /間	入来や
一銀札		4反	2	35匁 /間	52匁1分 /間	松本や
二銀札		17反	3	35匁 /間	51匁5分6厘 /間	此
一	青茶色ころ服連	15反	4	26匁 /間	50匁9分2厘 /間	入来や
二		17反	2	26匁 /間	45匁6分 /間	此
一銀札		12反	2	35匁 /間	42匁5分 /間	松本や

取引名目	品名	取引反数	附数	会所買入価格(圓)	落札価格(圓)	落札商人
二銀札		5反	2	35匁	／間 52匁7分4厘	／間 入来や
一	藍海松茶色ころ服連	1反	1	26匁	／間 59匁7分	／間 ふしや
二		1反	1	26匁	／間 61匁3分	／間 金沢や
一銀札		1反	1	35匁	／間 61匁7分	／間 藤や
二	萌黄色同	1反	1	26匁	／間 52匁3分	／間 長田や
一		黄呉路服連	4反	2	23匁	／間 53匁4分
二	4反		2	23匁	／間 55匁2分	／間 松本や
一銀札		1反	1	30匁	／間 55匁7分	／間 松本や
二銀札		1反	1	30匁	／間 57匁	／間 此・松本
二	桔梗色呉路服連	19反	3	23匁	／間 41匁9分4厘	／間 吉原や
一銀札		14反	2	30匁	／間 39匁4分	／間 長ヲカ
一	沓番同	9反	2	23匁	／間 50匁6分	／間 此
一		式番同	3反	1	23匁	／間 70匁
一	茶鼠色呉路服連		7反	2	23匁	／間 55匁6分
二		7反	4	23匁	／間 53匁3分4厘	／間 入来や
二銀札		3反	2	30匁	／間 54匁6分	／間 金沢や
一銀札	藤鼠色同	1反	1	30匁	／間 50匁	／間 村藤・此
一		白呉路服連	2反	1	23匁	／間 73匁9分
二	1反		1	23匁	／間 77匁	／間 の田や
二	鶯色同	3反	1	23匁	／間 56匁	／間 田原や
一銀札		黒鶯色同	3反	2	30匁	／間 35匁
一	紫鶯色呉ら服連		3反	2	23匁	／間 57匁9分
二		5反	1	23匁	／間 61匁	／間 長田や
一銀札		3反	1	30匁	／間 56匁8分1厘	／間 吉十
二銀札		1反	1	30匁	／間 64匁5分	／間 金沢や
一	黒呉路服連	27反	3	23匁	／間 52匁6分2厘	／間 竹のや
二		1反	1	23匁	／間 56匁3分	／間 入来や
二銀札		30反	2	30匁	／間 52匁9分6厘	／間 金沢や
一銀札	沓番同	1反	1	30匁	／間 57匁1分	／間 吉十
一銀札	式番黒呉路服連	1反	1	25匁	／間 32匁1分	／間 関東や
一	沓番花色同	4反	3	23匁	／間 60匁7分	／間 松本や
二		8反	2	23匁	／間 62匁4分	／間 田原や
一銀札		2反	2	30匁	／間 59匁	／間 暁や・此
一	式番花色古ろ服連	2反	1	23匁	／間 61匁2分	／間 入来や
二		20反	2	23匁	／間 43匁2分	／間 此
一銀札		2反	1	30匁	／間 32匁	／間 松本や
一銀札	千才茶色同	1反	1	30匁	／間 62匁	／間 村藤
一	緋へるへとわん	19反	2	172匁	／反 373匁9分	／反 ふしや
二		沓番同	5反	1	172匁	／反 382匁3分
一銀札			68反	2	265匁	／反 354匁
二銀札		25反	1	265匁	／反 392匁	／反 松本や
二	式番緋へるへとわん	1反	1	140匁	／反 -	-
一銀札		5反	2	195匁	／反 288匁9分	／反 の田や
二銀札		80反	1	195匁	／反 269匁2分	／反 ヒンや
二銀札	紫鶯色同	7反	2	255匁	／反 322匁9分	／反 田原や
一銀札	沓番紫飛色へるへとわん	2反	2	255匁	／反 330匁	／反 松のや
一銀札	式番同	1反	1	225匁	／反 306匁	／反 松本や
一	鶯色同	2反	1	168匁	／反 325匁	／反 此
二銀札		31反	2	255匁	／反 336匁	／反 松本や
一	青茶色へるへとわん	1反	1	165匁7分5厘	／反 447匁5分	／反 入来や
二		5反	1	165匁7分5厘	／反 447匁5分	／反 入来や
一銀札		8反	2	280匁	／反 437匁6分	／反 むら仁
二銀札		45反	2	280匁	／反 443匁	／反 長岡
一	黄へるへとわん	1反	1	178匁	／反 412匁	／反 松本や
二銀札		13反	2	*1	382匁	／反 田原や
一銀札	沓番同	12反	2	255匁	／反 388匁	／反 田原や
一銀札	式番同	1反	1	225匁	／反 340匁	／反 松本や

取引名目	品名	取引反数	貼付枚	会所買入価格(銀高)	落札価格(銀高)	落札商人
一	老番花色へるへとわん	9反	3	132匁5分 /反	393匁9分 /反	ふしや
二銀札		47反	3	255匁 /反	400匁 /反	吉十
一銀札	い老番花色同	30反	3	255匁 /反	402匁1分 /反	松本や
一銀札	ろ老番同	11反	1	255匁 /反	350匁9分 /反	の田や
一	式番花色へるへとわん	6反	1	132匁5分 /反	306匁 /反	村藤
一銀札		14反	1	225匁 /反	317匁9分 /反	関東や
二銀札		18反	1	255匁 /反	308匁 /反	長たや
一	桔梗色同	2反	1	154匁 /反	405匁 /反	ふしや
一銀札		9反	2	255匁 /反	439匁8分 /反	藤や
二銀札		6反	2	255匁 /反	443匁9分 /反	駄や・の田や
二銀札	黒へるへとわん	52反	2	255匁 /反	381匁 /反	江崎や
一銀札	老番同	28反	1	255匁 /反	435匁6分 /反	吉十
一銀札	式番黒へるへとわん	6反	1	225匁 /反	387匁9分 /反	藤や
二銀札	黒綿天鷲絨	72反	2	12匁 /間	18匁5分5厘 /間	吉十
一銀札	形付綿天鷲絨	10反	4	18匁 /間	26匁8分 /間	長田や
二銀札		60反	4	18匁 /間	28匁4分 /間	此
二銀札	尺長上更紗	25反	2	150匁 /反	282匁 /反	河内や
一銀札	老番尺長更紗	80反	4	85匁 /反	133匁9分 /反	の田や
二銀札	い老番同	100反	3	85匁 /反	131匁 /反	入来や
二銀札	ろ老番同	60反	4	70匁 /反	107匁 /反	田原や
一銀札	式番尺長更紗	251反	2	70匁 /反	86匁1分 /反	此
二銀札		280反	3	70匁 /反	88匁9分3厘 /反	の田や
一銀札	三番尺長更紗	410反	17	70匁 /反	101匁9分 /反	の田や
二銀札		270反	12	70匁 /反	97匁 /反	此
一銀札	四番尺長更紗	142反	9	50匁 /反	65匁9分 /反	松本や
二銀札		100反	9	50匁 /反	71匁9分 /反	吉原や
一銀札	五番尺長更紗	15反	2	45匁 /反	57匁5分 /反	此
一	老番巾廣白綾金巾	20反	2	85匁5分 /反	140匁 /反	豊嶋や
一銀札		480反	2	140匁 /反	164匁 /反	村藤
二銀札		480反	2	140匁 /反	165匁2分 /反	吉原や
二	巾廣白綾金巾	100反	2	85匁5分 /反	141匁7分 /反	長ヲカ
一	式番同	39反	1	70匁 /反	125匁 /反	松のや
一銀札		180反	1	110匁 /反	147匁5分 /反	中ノ
二銀札		274反	2	110匁 /反	141匁 /反	中の
一	幅廣上白金巾	80反	2	73匁5分 /反	210匁 /反	寿田や
二		55反	2	73匁5分 /反	207匁 /反	河内や
一銀札		556反	2	120匁(300匁) /反 107匁(256匁) /反	197匁2分 /反	田原や
二銀札		385反	2	120匁(300匁) /反 107匁(85匁) /反	197匁8分 /反	田原や
一銀札	巾廣白木めん	15反	1	80匁 /反	155匁 /反	の田や
一銀札	巾廣白綾木めん	345反	1	115匁 /反	188匁 /反	松本や
一銀札	巾廣色綾木綿	50反	5	40匁 /反	60匁9分 /反	田原や
二銀札		50反	4	40匁 /反	65匁3分 /反	此
二銀札	色紋綿紬	15反	3	20匁 /反	-	-
一銀札	白紋紗綾	51反	2	45匁 /反	-	-
一	上けん紬	12反	1	24匁 /反	70匁9分 /反	ふしや
一	絹紬	40反	0	37匁 /反	93匁 /反	田原や
一銀札	色縞子	21反	0	250匁 /反	322匁 /反	河内や
一銀札	老番冠更紗	106匁 但3切	0	2匁5分 /ツ	2匁9分3厘 /ツ	ふしや
一銀札	式番同	93 但5切	0	1匁9分 /(?)	3匁2分4厘 /(?)	金沢や
一銀札	黒縞子	14反	0	210匁 /反	393匁 /反	河内や
二銀札	同	6反	0	210匁 /反	-	-
一	老番毛氈	390枚	0	7匁2分 /枚	30匁2分 /枚	金沢や
二	同	750枚	0	7匁2分 /枚	29匁7分4厘 /枚	長ヲカ
一	式番同	210枚	0	6匁6分 /枚	27匁8分9厘 /枚	此
二	同	600枚	0	6匁6分 /枚	26匁7分 /枚	此

取引名目	品名	取引反数	貼付枚	会所買入価格(銀)	落札価格(銀)	落札商人
一	三番同	210枚	0	6匁 /枚	24匁1分 /枚	ふしや
二	同	300枚	0	6匁 /枚	24匁 /枚	入来や
一	碁盤同	230枚	0	2匁9分5厘 /枚	8匁1分 /枚	松本や
二	同	100枚	0	2匁9分5厘 /枚	8匁5分 /枚	ふしや
一	色小毛せん	20枚	0	3匁5分 /枚	6匁7分 /枚	此

註：・取引名目「一」～寅老番船本賣、「二」～寅式番船本賣、「一銀札」～寅老番船銀札買、「二銀札」～寅式番船銀札買。  
・\*1は、「嘉永七年見帳」(長崎県立長崎図書館所蔵)内の「[嘉永七年]寅 寅老番船・同式番船 銀札買見帳」によると、255匁(反)。

表7「安政三年三月 唐船舶載反物切本帳」取引名目・裂名称・貼付枚数・取引反数・落札価格・落札商人名

取引名目	品名	取引反数	貼付枚数	落札価格(銀)	落札商人
卯二	緋大羅紗	11反	3	117匁3分 /間	松のや
辰一		10反	3	121匁5分 /間	八藤や
辰二		16反	4	123匁8分 /間	エサキ
辰一別段持渡	緋羅紗	1反	1	966匁 /反	金サワや
卯二	青茶色大羅紗	6反	3	159匁 /間	〃
辰一		4反	3	164匁6分 /間	玉澤や
辰二		1反	1	141匁 /間	玉澤や
			*1		
卯二	黄大羅紗	6反	3	146匁9分 /間	天佐
辰一		3反	2	150匁 /間	中の
辰二		8反	3	152匁 /間	玉澤や
辰二	朽葉色大羅紗	1反	1	139匁2分 /間	常半
辰二	鶯色同	2反	2	147匁1分 /間	玉澤や
卯二	紫鶯色同	3反	2	141匁 /間	玉澤や
辰一		2反	2	146匁3分 /間	此〃
卯二	桔梗色大羅紗	4反	2	152匁 /間	〃
辰一		4反	2	157匁6分 /間	此〃
卯二	鼠色同	1反	1	120匁3分 /間	永井や
辰一		1反	1	132匁 /間	玉澤や
卯二	花色大羅紗	3反	2	136匁6分 /間	エサキ
辰一		2反	2	145匁9分 /間	此〃
辰二		1反	1	143匁9分 /間	ふしや
辰一別段持渡	花色羅紗	1反	1	1貫303匁 /反	〃
卯二	黒大羅紗	1反	1	163匁 /間	ひしや
辰一		2反	1	170匁2分 /間	田原や
辰二		1反	1	173匁9分 /間	ふしや
辰一別段持渡	形付羅紗	1切	1	805匁 /反	〃
辰一	類違緋羅紗	1反	1	91匁4分 /間	エサキ
辰一	同青茶色同	1反	1	119匁 /間	柿・玉澤
辰一別段持渡	同鼠色同	1反	1	-	-
辰一別段持渡	同花色同	3反	3	-	-
辰一別段持渡	類違黒羅紗	1反	1	-	-
辰一別段持渡	色羅紗	4切	0	721匁 /4切	〃
卯二銀札	幅廣緋ふらた	7反	3	134匁 /間	余・耕や
辰一追銀		13反	2	140匁3分 /間	天サ
卯二銀札	幅廣紫鶯色ふらた	5反	3	154匁 /間	常わや
辰一追銀		5反	2	158匁6分 /間	余
辰一追銀	同青茶色同	4反	2	178匁3分 /間	〃
卯二銀札	巾廣緋すためん	7反	3	202匁 /間	金沢
辰一銀札		2反	1	212匁1分 /間	玉澤や
辰二銀札		2反	1	216匁1分 /間	〃
卯二別段持渡		5反	2	1貫829匁 /反	又(物の)

取引名目	品名	取引数量	附枚数	落札価格(鏹)	落札商人
卯二銀札	幅廣青茶色スタメン	3反	2	282匁 /間	々
辰一銀札		1反	*20	291匁 /間	此々
辰二銀札		1反	1	307匁 /間	田
卯二銀札	幅廣黄すためん	1反	1	281匁 /間	永井や
辰一銀札		1反	1	292匁6分 /間	中ノ
辰二銀札		1反	1	314匁 /間	々
卯二銀札	同桔梗色同	2反	1	252匁5分 /間	々
辰一銀札		1反	1	248匁6分 /間	中の
辰二銀札		1反	1	257匁 /間	々
卯二別段持渡		2反	2	2貫160匁5分 /反	々
辰二別段持渡		2反	1	2貫170匁8分 /反	布や
卯二銀札	幅廣紫鶯色スタメン	10反	4	201匁 /間	天サ
辰一銀札		6反	2	209匁6分 /間	布や
辰二銀札		5反	2	211匁6分 /間	玉澤や
辰二別段持渡		1反	1	1貫805匁1分 /反	金サワや
卯二銀札	幅廣花色スタメン	2反	*30	227匁3分 /間	豊嶋や
辰一銀札		2反	2	232匁 /間	布や
辰二銀札		2反	1	236匁9分 /間	玉澤や
卯二	緋ころふく連	26反	4	49匁2分7厘 /間	松のや
辰一		17反	3	46匁1分 /間	玉澤や
辰二		21反	4	45匁9分2厘 /間	エサキ
卯二銀札		14反	3	41匁6分 /間	中の
辰一銀札		13反	2	39匁7分 /間	々
辰二銀札		6反	2	40匁9分1厘 /間	ふし・耕
卯二追銀		34反	4	38匁2分 /間	々
辰一追銀		34反	3	38匁9分5厘 /間	富や
辰二追銀		39反	4	39匁3分4厘 /間	永井や
卯二別段持渡	い同	77反	3	922匁 /反	富や
辰一別段持渡	い耆番同	47反	4	1貫 23匁 /反	布や
辰二別段持渡		42反	4	1貫 52匁5分 /反	々
辰一別段持渡	い式番緋ころ服連	6反	1	495匁 /反	々
辰二別段持渡		2反	1	553匁8分 /反	ひしや
卯二別段持渡	ろ緋同	49切	0	77匁9分 /切	立見や
辰一別段持渡	同	46切	0	81匁6分 /切	てつや
辰二別段持渡	同	4切	0	89匁 /切	福井や
卯二	青茶色ころふく連	15反	3	49匁6分 /間	玉澤や
辰一		11反	3	49匁6分 /間	玉澤や
辰二		16反	4	50匁 /間	布や
卯二銀札		1反	1	45匁6分 /間	玉澤や
辰一銀札		7反	2	43匁6分 /間	布や
卯二追銀		11反	3	41匁7分 /間	々
辰一追銀		12反	2	40匁9分6厘 /間	立見や
辰二追銀		13反	4	42匁6分 /間	々
辰二別段持渡		4反	2	1貫 80匁 /反	余
辰一別段持渡	耆番青茶色同	4反	1	1貫186匁 /反	下
辰一別段持渡	式番同	1反	1	562匁 /反	吉田や
卯二別段持渡	い同	8反	2	1貫 94匁 /反	布や
卯二別段持渡	ろ同	17切	0	91匁 /切	福井や
卯二	白呉羅服連	8反	2	38匁3分 /間	常わや
辰一		3反	2	41匁 /間	八藤や
辰二		4反	2	38匁1分 /間	豊嶋や
卯二銀札		3反	1	37匁9分 /間	ふしや
卯二追銀		33反	3	37匁9分5厘 /間	常わや
辰一追銀		6反	2	37匁1分 /間	下
辰二追銀		7反	2	38匁2分 /間	余
辰二別段持渡		3反	1	1貫 29匁 /反	金サワや
卯二別段持渡	い白呉羅服連	21反	2	984匁 /反	下
辰一別段持渡		32反	3	1貫 4匁 /反	下

取引名目	品名	取引反数	附枚数	落札価格(貲)	落札商人
卯二別段持渡	ろ同	6切	0	90匁 /切	※
辰一別段持渡	同	8切	0	88匁9分 /切	ひしや
卯二	黄呉羅服連	17反	2	51匁4分 /間	松のや
辰一		9反	3	48匁3分 /間	玉澤や
辰二		3反	2	50匁5分 /間	ふしや
卯二銀札		5反	2	46匁6分 /間	布や
辰一銀札		3反	1	44匁9分 /間	吉原や
辰二銀札		2反	1	43匁 /間	吉原や
卯二追銀		32反	4	38匁6分 /間	福井や
辰一追銀		16反	3	38匁3分5厘 /間	永見
辰二追銀		13反	3	39匁2分 /間	松本や
卯二別段持渡		18反	3	1貫 26匁 /反	〃
辰二別段持渡		9反	3	1貫 35匁6分 /反	余
辰一別段持渡	い壺番同	41反	4	1貫 8匁 /反	余
辰一別段持渡	い式番同	4反	1	510匁 /反	余
辰一別段持渡	ろ同	8切	0	82匁8分 /切	吉田や
卯二	桔梗色ころふく連	3反	2	65匁9分 /間	松のや
辰二		2反	1	64匁 /間	玉澤や
辰一		4反	2	60匁 /間	松のや
卯二銀札		1反	1	61匁 /間	〃
辰二銀札		5反	2	57匁6分 /間	玉澤や
辰一追銀		1反	1	64匁6分 /間	△(トミヤ)
辰二追銀		19反	3	65匁1分 /間	下
辰二別段持渡		15反	4	1貫658匁 /反	〃
卯二追銀	壺番桔梗色同	8反	3	61匁9分6厘 /間	※
辰一別段持渡	い壺番同	8反	2	1貫613匁 /反	此〃
卯二追銀	式番桔梗色呉ら服連	2反	1	64匁 /間	〃
辰一別段持渡	い式番同	2反	1	780匁 /反	天サ
卯二別段持渡	い桔梗色同	4反	2	1貫657匁 /反	〃
卯二別段持渡	ろ桔梗色同	22切	0	135匁 /切	松本や
辰一別段持渡	同	2切	0	135匁 /切	松本や
卯二追銀	鶯色ころふく連	9反	4	52匁8分 /間	△(トミヤ)
辰一追銀		3反	1	55匁2分 /間	〃
卯二別段持渡		2切	1	124匁 /切	松本や
辰一別段持渡		3反	1	1貫406匁 /反	〃
卯二	紅鶯色呉ら服連	3反	1	56匁2分 /間	松のや
卯二追銀		6反	2	64匁6分 /間	竹のや
辰一追銀		1反	1	65匁5分 /間	△(トミヤ)
卯二	紫鶯色同	1反	1	60匁3分 /間	松のや
辰一		5反	2	64匁 /間	玉澤や
辰二		2反	2	62匁 /間	〃エキ
辰二追銀		3反	1	64匁3分 /間	△(トミヤ)
辰二別段持渡		3反	2	1貫456匁 /反	〃常半
辰一	千才茶色ころふく連	1反	1	41匁 /間	布や
卯二追銀		1反	1	46匁3分 /間	玉澤や
辰一追銀		3反	1	42匁8分 /間	玉澤や
卯二別段持渡		1反	1	1貫 97匁 /反	〃
卯二	花色呉らふく連	4反	1	55匁 /間	松のや
卯二銀札		5反	2	47匁 /間	余
辰一	壺番同	5反	2	51匁9分 /間	ふしや
辰二		11反	4	47匁3分 /間	余
辰一銀札		5反	1	45匁2分 /間	玉澤や
辰二銀札		5反	2	40匁7分 /間	立見や
卯二追銀		14反	3	43匁7分 /間	〃(澤カ)
辰一追銀		3反	1	44匁6分 /間	玉川や
辰二追銀		4反	3	48匁5分 /間	〃

取引名目	品名	取引反数	貼付枚数	落札価格(鬮)	落札商人
卯二別段持渡	い壱番花色ころふく連	7反	2	1貫216匁	／反 下
辰一別段持渡		6反	4	1貫152匁	／反 〆
辰二別段持渡		7反	3	1貫139匁	／反 常半
辰一	弍番花色ころふく連	7反	2	50匁	／間 布や
辰二		1反	1	49匁1分	／間 布や
辰一銀札		4反	2	48匁2分	／間 玉澤や
辰二銀札		5反	2	42匁8分	／間 余
卯二追銀		21反	3	45匁	／間 マキエや
辰一追銀		12反	3	47匁6分	／間 布や
辰二追銀		12反	3	47匁5分	／間 〆
卯二別段持渡	い弍番花色ころふく連	6反	2	1貫250匁	／反 〆
辰一別段持渡		13反	3	1貫 9匁	／反 余
辰二別段持渡		7反	1	1貫172匁	／反 〆 (備)
辰二追銀	三番同	1反	0	33匁	／間 常半
辰一別段持渡	い三番花色同	1反	1	554匁	／反 〆
辰二別段持渡		1反	1	1貫730匁	／反 常半
辰一別段持渡	い四番花色ころふく連	3反	1	546匁	／反 下
卯二別段持渡	ろ花色同	47切	0	91匁9分	／切 〆しや
辰一別段持渡	同	107切	0	82匁8分	／切 〆
辰二別段持渡	同	54切	0	87匁8分	／切 布や
卯二別段持渡	は花色同	9切	0	90匁6分	／切 〆
辰一別段持渡		30切	0	82匁5分	／切 〆
卯二	鼠色同	4反	3	49匁	／間 松のや
辰一		1反	1	48匁2分	／間 玉澤や
卯二銀札		1反	1	45匁8分	／間 松本や
辰二		2反	1	50匁	／間 玉澤や
辰一追銀		1反	1	45匁9分	／間 野田や
卯二別段持渡		1反	1	1貫156匁	／反 玉澤や
辰一	藍鼠色呉ら服連	1反	1	65匁	／間 てつや
卯二	黒古ろふく連	4反	2	45匁	／間 松のや
辰一		12反	3	45匁	／間 松のや
辰二		21反	2	39匁8分	／間 布や
卯二銀札		10反	2	37匁9分	／間 八藤や
辰一銀札		8反	1	35匁9分	／間 〆しや
辰二銀札		1反	1	36匁1分	／間 吉原や
卯二追銀		50反	4	40匁1分7厘	／間 余
辰一追銀		31反	3	37匁8分	／間 余
辰二追銀		34反	4	38匁3分7厘	／間 干
卯二別段持渡	い黒ころふく連	18反	3	989匁	／反 立見や
辰一別段持渡		22反	3	943匁	／反 〆
辰二別段持渡	い壱番同	14反	2	1貫 33匁5分	／反 布や
辰二別段持渡	い弍番黒ころ服連	1反	1	1貫600匁	／反 下
卯二別段持渡	ろ黒同	6切	0	82匁5分	／切 〆しや
辰一別段持渡	同	18切	0	83匁3分	／切 〆しや
辰二別段持渡	同	9切	0	82匁	／切 干

註：・取引名目「卯二」～「卯式番船本賣」、「辰一」～「辰壱番船本賣」、  
「辰二」～「辰弍番船本賣」、「卯二銀札」～「卯式番船銀札買」、  
「辰一銀札」～「辰壱番船銀札買」、「辰二銀札」～「辰弍番船銀札買」、  
「卯二追銀」～「卯式番船追銀札」(「見帳」では「卯式番船別段持渡」と表記)  
「辰一追銀」～「辰壱番船追銀札」(「見帳」では「辰壱番船別段持渡」荷物船主・財割分)と表記)  
「辰二追銀」～「辰弍番船追銀札」(「見帳」では「辰弍番船別段持渡」船主・財割分)と表記)  
「卯二別段持渡」～「卯式番船別段持渡」(「見帳」では「卯式番船別段持渡」)  
「辰一別段持渡」～「辰壱番船別段持渡」(「見帳」では「辰壱番船別段持渡」)と表記)  
「辰二別段持渡」～「辰弍番船別段持渡」(「見帳」では「辰弍番船別段持渡」)と表記)  
・店印は「見帳」との照合の結果次ぎのように比定できる。  
〆：布や、〆：松田や、余：永見や、田：田原や、下：豊嶋や、  
△：松本や、◇：〆しや、干：吉原や、〆：金澤や、〆：常半、  
△：トミヤ、常半、〆：竹のや、トミヤ  
・\*1～この位置に「鼠色呉羅服連」が貼られているが、品名反数等の記事が  
一切ないため、この切本帳作成後に裂のみ貼られたと考えられる。  
・\*2～裂剥離。・\*3～裂剥離。